

神石高原町庁舎建設事業 地元説明会



平成29年6月26日
神石高原町 政策企画課

これまでの経過

現庁舎（北棟・南棟）は、現行の耐震基準以前に建設されており、耐震診断調査において、建物の耐震性が基準を下回っており、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性があると判定されました。

これを受けて、本年1月、庁内に「神石高原町庁舎建設プロジェクトチーム」を設置し、4月には各種団体を構成員とする「神石高原町庁舎建設検討委員会」を設置し、**15名の委員**により耐震性の課題解決に向けた調査・検討を進めてきました。

本庁舎の概要

〈南棟〉



町長室, 副町長・参事室
総務課, まちづくり推進課, 住民課
産業課, 会計課, 政策企画課

◆ 昭和32年建築 〈59年経過〉

RC造 2階建 738.95m²

〈北棟〉



議場, 議会事務局, 福祉課
環境衛生課

◆ 昭和54年建築 〈37年経過〉

RC造 2階建 1,063.73m²

本庁舎の課題

- ① 耐震性の課題
- ② 老朽化の課題
- ③ 来庁者の利便性の課題
- ④ アクセス機能の課題

① 耐震性の課題

〈耐震診断の結果(最大値)〉

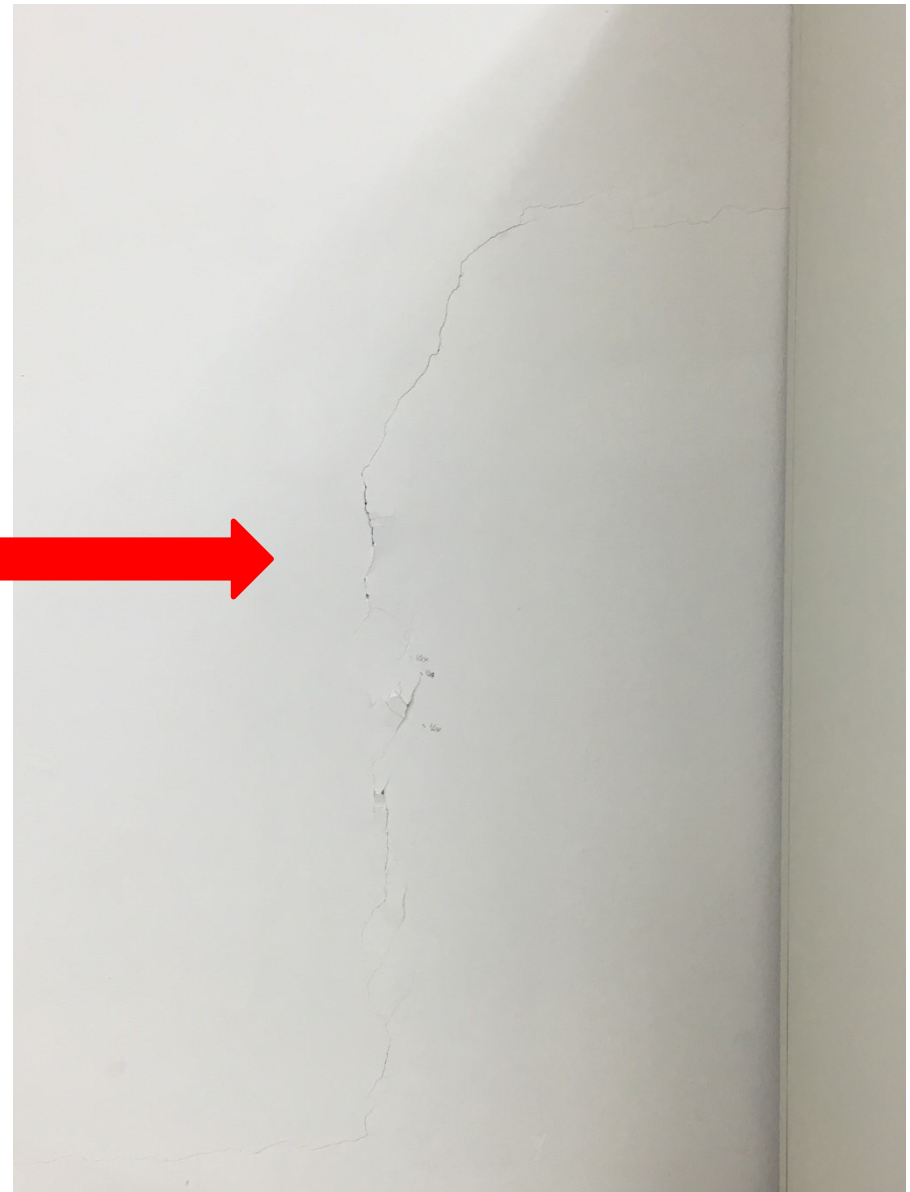
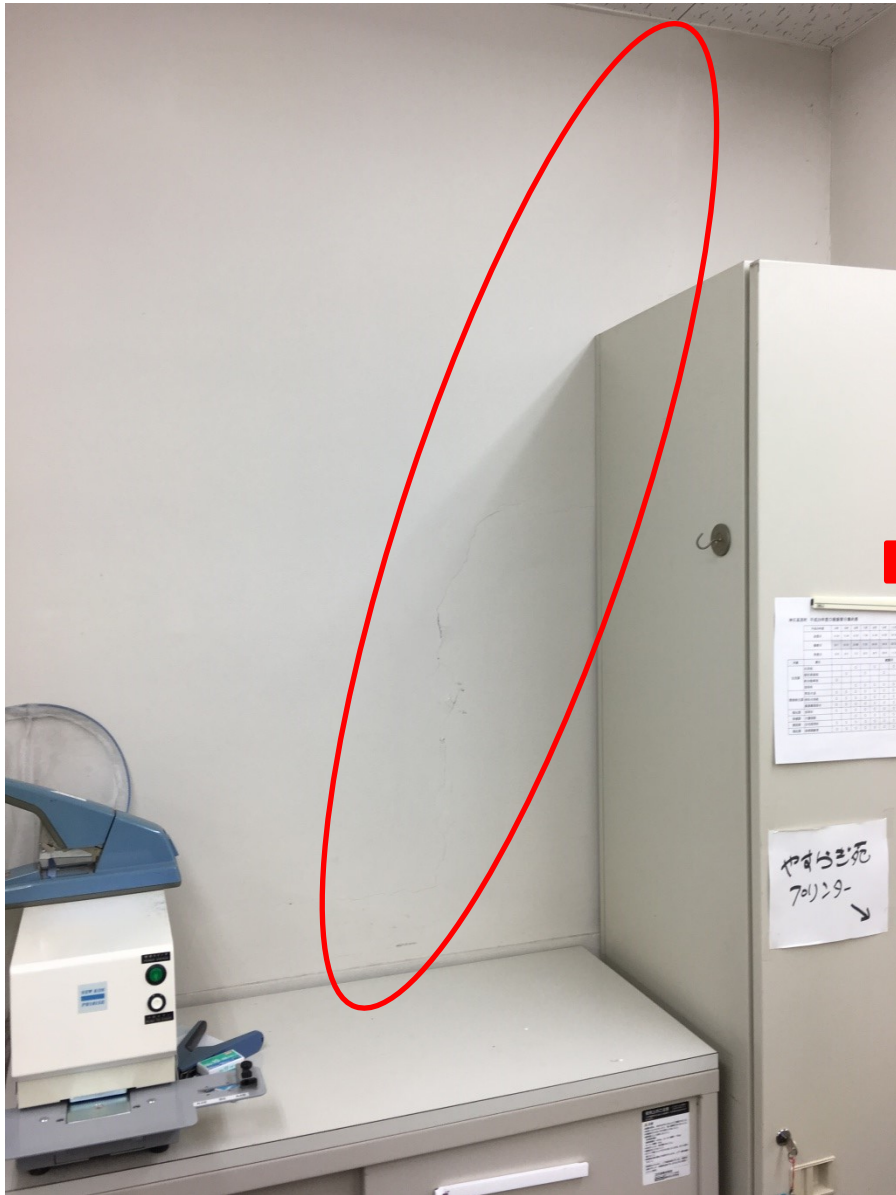
庁舎名	Is値	Co中性化深さ	Co強度
南棟	0.19	100.0	8.8
北棟	0.66	14.4	16.5

※「Is値」とは、建物の耐震性能を表す指標であり、一般的には0.6以上あれば、大地震(震度6強～震度7)による倒壊又は崩壊の危険性が低いとされる。

※中性化が進行し、鉄筋位置(30mm)に達すると、鉄筋を腐食させ、コンクリートのひび割れ、剥離を引き起こし、構造物の耐力などの性能低下が生じるとされる。

※耐震評価機関での評価は、 $9.0\text{N}/\text{mm}^2$ 未満の極低強度コンクリート部位を除いた構造体での評価のみ受付けており、補強の評価が受けられない建物となっている。

平成28年 鳥取地震による亀裂 ⇒ 「震度2」



住民課 (南棟 1階)

② 老朽化の課題

- ◆ 内装の傷みが激しく、壁面のひび割れ等が見られる。



③ 利便性の課題

- ◆ 一部の部署(保健課, 教育課)が別棟に分散していることにより, 来庁者の利便性が悪く, 不便をかける結果となっている。
- ◆ 特に本庁舎2階については, 通路幅が狭く, 来庁者が多い時期には通路が混雑する。



④ アクセス機能の課題

- ◆ 県道から本庁舎までの進入路の幅員が狭く、見通しの悪い箇所もあり危険である。



県道帝釈峡井関線

町道宮前線



耐震性の課題解決の必要性

- 南棟については、建築から59年が経過し、コンクリート強度の不足により、耐震改修もできない状況となっている。
- 北棟については、Is値が0.6を上回っているが、防災拠点としての性能からIs値0.75以上の耐震性能が必要と考えられる。
- 庁舎には、住民生活に関わる多くの機能、重要な情報などが存在している。
- 大規模災害が発生した際、町は災害対応の主体として重要な役割を担っており、庁舎は災害対応の拠点として即時に機能しなければならない。



早急な耐震性の課題解決が必要

課題解決のためのスケジュール

庁舎整備の手法に関わらず，町の財政負担を軽減するため，**合併特例債**の活用を優先しなければなりません。

※合併特例債は非常に有利な借入れができる制度で，全体事業費の5%の自己資金で事業ができ，返済する際も元利償還金の70%が国から交付税として補填を受けることができる。



合併特例債の適用期限である**平成31年度末**までに事業を完了させる必要がある。

候補地の比較検討

〈基本的な考え方〉

- ①町立病院をはじめとした保健・医療・福祉施設や金融機関，商店，その他生活と直結する施設等の機能を可能な限り集約した「コンパクトシティの形成」
- ②町民の利便性向上を図るため，部署（窓口）を集約した「行政サービスのワンストップ化の推進」
- ③平成31年度末が期限となる「合併特例債の活用」

検討した候補地

- ① 候補地A 現庁舎敷地
- ② 候補地B 消防屯所予定地周辺
- ③ 候補地C 保健センター周辺
- ④ 候補地D 旧三和小学校跡地周辺
- ⑤ 候補地E 町立病院跡地
- ⑥ 候補地F 安田消防周辺

※「実現性」、「安全性」、「利便性」、「拡張性」、「経済性」
を評価項目として比較

検討委員会での決定事項



①合併特例債を使って建替える。

②候補地の順位は次のとおりとする。

◇第1候補地 ⇒ C(保健センター周辺)

◇第2候補地 ⇒ D(旧三和小学校跡地周辺)

◇第3候補地 ⇒ B(消防屯所予定地周辺)

6月12日 町長へ意見書提出

第1候補地(保健センター一周辺)



庁舎候補地

町立病院候補地

今後の予定 〈主なスケジュール〉

〈平成29年度〉

用地取得
基本計画
測量・造成設計
建築基本設計

〈平成30年度〉

造成工事
建築実施設計

〈平成31年度〉

建築工事
備品購入

○想定する庁舎の規模 約3,500㎡
○概算事業費 約18億8,000万円

平成31年度末 事業完了

ご清聴ありがとうございました。